

新型コロナワクチン接種



についてのお知らせ

問合せ 保健センター ☎294-5511 FAX 295-5850

3回目接種について

2回目の接種日からの接種間隔は、現在下表のとおりになっています。毛呂山町ではワクチンの供給量に応じて、2回目を接種した人から順に接種券を発送しています。接種券が届きましたら予約をお願いします。

接種場所	ワクチンの種類	接種間隔	予約方法
集団接種会場（東公民館）	モデルナ社製ワクチン	年齢に関わらず6か月	ネット予約またはコールセンター
個別接種会場	ファイザー社製ワクチン	年齢に関わらず6か月	各医療機関

※接種会場の予約の空き状況により、6か月後すぐに予約ができない場合があります。

個別接種実施医療機関について

医療機関	住所	電話番号	医療機関	住所	電話番号
おっぺ小児科・アレルギー科クリニック	若山1-8-7	☎295-5550	街かどのクリニック	川角7-1	☎298-5357
長瀬クリニック	川角94-2	☎295-0708	ゆずの木台クリニック	中央2-5-5	☎295-5158
初野医院	長瀬1850	☎295-2887	ふたばクリニック	市場1042-1	☎227-3266
ハピネス会川角クリニック	下川原171	☎295-3959	※ゆずの木台クリニックは、かかりつけの人のみです。		

小児（5～11歳）のワクチン接種について

3月中旬頃から接種できるよう準備を進めています。対象となるお子さんには、接種券や小児用ワクチンの説明書が届きます。説明書や厚生労働省のお知らせをご覧ください、希望される場合は、予約してお受けください。

■接種場所 おっぺ小児科・アレルギー科クリニック、初野医院

■使用ワクチン 小児用ファイザー社製ワクチン

■接種回数 3週間の間隔をあけて2回接種

■接種費用 無料（全額公費負担）

■3月の接種人数 250人（ワクチンの供給量分）

■予約方法 ①町から接種券が届く、②各医療機関に予約

※おっぺ小児科は、おっぺ小児科のホームページからネット予約、初野医院は電話予約してください。

■注意事項

- ・基礎疾患しつかんのあるお子さんは、かかりつけ医に接種について相談してください。
- ・接種券発送は、準備が整い次第、発送します。
- ・1回目の接種時に11歳だったお子さんが、2回目の接種時までに12歳の誕生日を迎えた場合は、2回目接種時にも小児用ワクチンを使用します。

参考/厚生労働省ホームページ

「5～11歳の子どもへの接種（小児接種）についてのお知らせ」



毛呂山町の新型コロナワクチン接種制度や接種方法などに関する相談

毛呂山町新型コロナワクチンコールセンター

☎050-5578-9415（ナビダイヤル）

午前9時から午後5時（土日祝日含む）※番号のかけ間違いにご注意ください。

まずは、 相談してみませんか？

自殺対策基本法において、月別自殺者数の最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定めており、支援策および啓発事業を実施しています。

Point4 見守り

Point3 つながり

Point2 傾聴

Point1 気づき

あなたにもできる自殺予防のための行動

日本では、毎年、2万人を超える人が自らの命を絶っています。自殺は健康状態や失業・多重債務等の経済・生活問題、家庭問題、いじめや孤立など複雑な問題や悩みが重なり合って深刻化した結果、追い込まれた末の死といわれています。

自殺予防は社会全体で取り組む必要があります。町民一人ひとりがかけがえのない命の大切さを考え、ともに支えあう地域社会、まちづくりが大切です。

一人ひとりが、日頃から周りを見渡し、心のSOSに耳を傾けましょう。

Point 1 変化に気づく 気づき

家族や仲間の変化に気づいて、声をかけましょう。

発言や行動の変化、体調の変化など、家族や仲間の変化に敏感になり、心の悩みや様々な問題を抱えている人が発する周りへのサインになるべく早く気づきましょう。

変化に気づいたら、自分にできる限り声かけをしていきましょう。

Point 2 耳を傾ける 傾聴

本人の気持ちを尊重し、耳を傾けましょう。

悩みを話してくれたら、時間をかけて、できる限り傾聴しましょう。話題をそらしたり、訴えや気持ちを否定したり、表面的な励ましをしたりすることは逆効果です。

本人の気持ちを尊重し、共感したうえで、相手を大切に思う自分の気持ちを伝えましょう。

Point 3 相談する つながり

早めに専門家に相談するように促しましょう。

心の病気や社会・経済的な問題等を抱えているのであれば、公的相談機関、医療機関等の専門家への相談につなげましょう。相談を受けた側も一人では抱え込まず、プライバシーに配慮したうえで本人の置かれている状況や気持ちを理解してくれる家族、友人などキーパーソンの協力を求め、連携を取りましょう。

Point 4 寄り添って見守る 見守り

温かく寄り添いながら、じっくりと見守りましょう。

身体や心の健康状態について自然な雰囲気の中で声をかけて、あせらずに優しく寄り添いながら見守りましょう。必要に応じて、キーパーソンと連携をとり、専門家に情報を提供しましょう。

主な相談窓口

相談	電話番号	相談可能日時
「埼玉いのちの電話」 電話相談	☎048-645-4343	24時間365日
さいたまチャイルドライン (18歳までの子ども専用電話)	☎0120-99-7777	毎日 午後4時～9時 (年末年始は休み)
うつ病による自殺予防、 電話相談「こころの電話」	☎048-723-1447	平日 午前9時～午後5時
こころの健康相談 統一ダイヤル	☎0570-064-556	相談対応の曜日・時間は 自治体によって異なります

周りの人ができること

ゲートキーパー（門番）になる

「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要に応じて適切な支援につなげ、見守る人のことです。悩みを抱えた人は、「人に悩みを言えない」、「どこに相談したらいいかわからない」といった状況に陥ることがあります。悩みを抱えた人を支援するために、周囲の人々がゲートキーパーとして活動することで、自殺の予防へつながります。